

【参考資料】

※ 本資料は 2006 年 7 月 10 日にBASF本社が発表した情報の抄訳です。

プレスリリース

2006 年 7 月 13 日

SINOPEC と BASF、総額 5 億ドルをかけて中国・南京プラントを増強

- スチームクラッカーの生産能力を 25%拡大
- 川下製品プラントの生産能力を拡大
- SINOPEC と BASF の長期的パートナーシップ

中国石油化工(SINOPEC)とBASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)はこのほど、総額 5 億ドルを投資し、共同出資している中国・南京の統合石化プラント(フェアブント)を増強します。

ドイツ、ベルリンで行われた署名式では、中国石油化工集団(SINOPEC グループ)社長兼中国石油化工(SINOPEC)会長の李毅中と、BASF 取締役会会長のユルゲン・ハンブレヒトにより、プラントの増強についての契約が締結されました。

SINOPEC の李毅中会長は次のように述べています。

「BASF-YPC 社(BASF と SINOPEC の折半出資の合弁会社)の拡大は、合弁事業の第 1 段階における両社の協力が順調に進んだ結果として実現しました。これは両社の発展に寄与するのみならず、中独企業間の協力関係をいっそう強化するものです」。

BASF のハンブレヒト取締役会長は次のように述べています。

「合弁事業の成功は、BASF と SINOPEC、そしてドイツと中国の強力なパートナーシップを象徴しています。今回の戦略投資は、中国の拡大する化学品市場に対する私たちのコミットメントを改めて示すものです」。

BASF-YPC 社は、第 1 段階の投資総額が 29 億ドルにのぼり、中国企業と外資系企業による石油化学の合弁事業では中国国内有数となります。

増強計画の内容について

SINOPEC と BASF は、フェアブント拠点の相乗効果を一段と高めるべく、スチームクラッカーの生産能力拡大と川下製品プラントへの追加投資によって合弁事業を拡張します。2009 年の稼働を目指します。

【拡張計画の主な内容】

1. スチームクラッカーのエチレン年産能力を 60 万トンから約 75 万トンへ拡大
2. 洗剤用非イオン界面活性剤、溶剤ブチルグリコールエーテルを生産するエチレン・バリューチェーン強化に向けた酸化エチレン(EO)プラントの拡張とEO 誘導体の開発
3. C4 特殊品(化学原料用ブタジエンおよびイソブテン、次世代可塑剤向け 2-プロピルヘプタノール、燃料・潤滑油添加剤用ポリイソブテン誘導体)などの C4 バリューチェーンの開発
4. 衛生・工業用途向け高吸水性樹脂("SAP")を生産するためのアクリル樹脂バリューチェーンの拡張

また SINOPEC と BASF は、2 つ目の合併事業である南京の Yangzi-BASF Styrenics (YBS) 社を効率性とシナジー効果の向上のために、BASF-YPC 社に統合することにも合意致しました。

■ フェアブンドについて

フェアブントとは、製造プラントを相互に結びつけることで、生成物、副生成物、エネルギーを最も効率的に使用し、コストの節減、環境への影響の最小化を目指す統合生産拠点のことです。

■ BASF-YPC 社について

BASF-YPC 社は BASF と SINOPEC が 2000 年に設立した折半出資の合併会社です。これまでの投資総額は 29 億ドルにのぼります。江蘇省・南京に設置された同拠点の起工式は 2001 年 9 月 28 日に行われました。BASF-YPC 社は 2005 年 6 月にスチームクラッカーと 9 基の川下製品プラントの商業運転を開始しました。プラントを相互に結びつけることで、生成物、副生成物、エネルギーを最も効率的に使用し、持続可能な発展という会社の目標への寄与を目指しています。敷地面積は 220 ヘクタールで、急成長を遂げる中国市場向けに、年間 170 万トンの高品質な化学品とポリマーを生産しています。また、エネルギー供給とロジスティクスの最適化を図るために、拠点にはガス発電所と揚子江支流の国際港も整備されています。

■ この件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 山田 真紀 Tel. 03-3238-2341

BASF ジャパン株式会社 広報代理

ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社 野田 葉子 Tel. 03-5768-8412